

# 事務事業評価シート

(H.30)No.	2202	(H.29)No.	2202
-----------	------	-----------	------

事務事業名	小規模保育事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	保育幼稚園室	荻田 貴子	

会計区分	事業コード	199302
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	地域型保育事業	
項 児童福祉費	(小事業名)	
目 保育所費	小規模保育事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	3	地域福祉の充実
	施 策	3	子ども・子育て支援
重点プロジェクト	2.若者定住促進プロジェクト		

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	待機児童問題が深刻化する中、多様な主体が多様なスペースを活用して質の高い保育を提供することにより、保育サービスの供給量を増やし待機児童の解消を目指す。
事業内容	商業施設や集合住宅の空きスペース、保育士の居宅等において0~2歳児の保育を行う小規模保育実施事業者に対し、扶助費を支弁する。また、国津保育所は業務委託を中止し、市直営の待機児童の受入施設として運営を行う。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	4月に1か所(ニチイキッズきおうだい)、5月に1か所(なばりひやわんこども園)開園した小規模保育事業所を含めて4か所に対し運営費を支弁する。国津保育所については、公設民営方式により保育業務を学校法人に委託するとともに、給食業務等については市直営で実施した。  小規模保育事業所5か所 入所児童数69名	4月に1か所(第2かな保育園)開園。 国津保育所は公設民営方式から、市の直営で待機児童の受入施設として運営を行う。 小規模保育事業所 6か所 入所児童数84人	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		130,975千円		175,447千円	175,447千円	175,447千円	175,447千円
内訳(千円)	国・県支出金	90,232		140,244	140,244	140,224	140,224
	地方債						
	その他( )	3,099		1,767	1,767	1,767	1,767
	一般財源	0	37,644	0	33,436	33,436	33,456
人工数	職員		0.53人	0.51人	0.51人	0.51人	0.51人
	臨時職員等		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	3,922千円	0千円	3,774千円	3,774千円	3,774千円	3,774千円
①+②総事業費	0千円	134,897千円	0千円	179,221千円	179,221千円	179,221千円	179,221千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)	子ども・子育て支援新制度が平成27年4月から施行され、待機児童対策の一つとして創設された小規模保育事業を推進し、保育ニーズの多い0~2歳児の受け入れを行いました。平成29年度は新たに2施設が開園し、受け入れ枠がさらに拡大しました。育児休業明け等の年度途中の入所希望者の保育を実施することにより、女性の社会参加を促進し、子どもを安心して産み育てることができる取組として大いに貢献しています。
------------------------------------	--

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
受け入れ枠の拡大を図ったものの、未だ待機児童は発生している状況である。ニーズ量を見極めながら、私立幼稚園の認定こども園化を推進し、待機児童の解消を図る。国津保育所については、引き続き待機児童の受入施設として市の直営により運営を行う。。	ぱりっすくすく計画